



平成28年6月23日

各 位

会社名 東芝テック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 池田 隆之  
(コード番号6588 東証第1部)  
問合せ先 経営企画部 広報室長  
水野 隆司  
(TEL 03-6830-9151)

## 財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備について

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、今後、関東財務局に提出します平成28年3月期（以下「当事業年度」といいます。）の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備がある旨を記載することを本日開催の取締役会で決議しましたので、お知らせします。

### 1. 開示すべき重要な不備の内容

下記に記載した財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備に該当すると判断しました。したがって、当事業年度末日現在において、当社グループの財務報告に係る内部統制は有効でないと判断しました。

### 記

当社は、当事業年度決算において、決算手続きに想定以上の時間を要したことより決算発表を延期し、また、決算短信公表後も継続中の決算手続きにおいて修正事項が発見され、本日公表の「(訂正・数値データ訂正)「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ」のとおり、決算の訂正を行いました。

これらの事象は、子会社である海外リテール事業（グローバルコマースソリューション事業）の現地法人での決算手続きにおいて、当事業年度末日以降に複数の修正事項が発見され、修正を行ったことが原因であります。具体的には、在庫評価額に係る誤謬、売上関連に係る誤謬、買掛金・未払金に係る誤謬等が発生し、修正を行いました。

これらは、以下の決算・財務報告プロセスに関する内部統制の不備であり、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備に該当すると判断しました。

- ①定期的な残高照合実施等の適正残高を維持する内部統制運用の不備
- ②決算スケジュールの適切な進捗を管理する内部統制運用の不備
- ③発見統制としての分析的手続きの不徹底
- ④仕訳入力担当者によるオペレーションのミスを防止する内部統制の不備

## 2. 事業年度末日までには是正できなかった理由

上記内部統制の不備は、当事業年度末日以降に発見されたため、当事業年度末日までには是正できませんでした。

## 3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、開示すべき重要な不備を是正するために、グローバルコマースソリューション事業の現地法人を中心に、経理組織体制を強化し、以下のような再発防止策を講じて適切な内部統制を整備・運用してまいります。

### ①内部統制の更なる強化

- (1) 総勘定元帳残高を適正に保持するための適切な残高照合プロセスの運用
- (2) 適時な決算完了に資するスケジュール管理の徹底
- (3) 誤謬の早期発見に資する有効な分析的手続きの運用
- (4) 仕訳記帳に関する有効なレビュー・承認の運用

### ②経理業務処理プロセスの更なる改善

- (1) 業務プロセスの強化及び文書化
- (2) 仕訳パターンの整理と改善
- (3) 会計処理手順書の策定

なお、必要に応じて対策を追加してまいります。

## 4. 連結財務諸表等に与える影響

上記内部統制の不備に起因する必要な修正事項は、適正に修正しており、当事業年度の連結財務諸表及び財務諸表に与える影響はありません。

— 以 上 —

本資料に記載している将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。